



# 緑の風



学校のクリスマスⅡ

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」  
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

## 音と心が響き合う 「Bright Eyes」ラストコンサート



12月13日（日）に、器楽部の今年度最大行事である「ラストコンサート」が開かれました。例年は、中学生や「ダイナミクス」の皆さんとの共演や、たくさんのお客様への案内もしていましたが、今年はお家族と在校生を中心とした演奏会になりました。

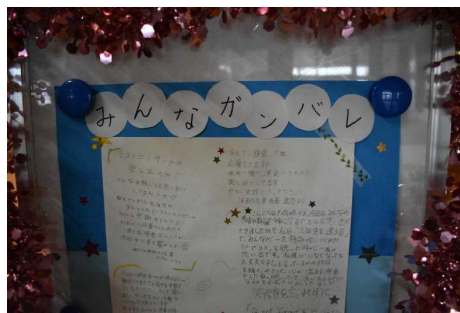
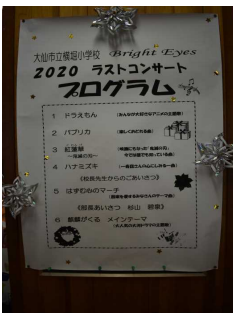
春に、新しいメンバーを加えてからの練習成果が伝わる、質の高い演奏に大きな拍手が送られました。鬼滅の刃の「紅蓮華」や大河ドラマ「麒麟がくる」等の新曲は、とっても難しい曲なのに、曲の楽しさとか厳かさが、しっかりと心に届く演奏に仕上がっていて、びっくりしたし、感動しました。

そして、この「Bright Eyes」の活動をリードしてきた8名の6年生はサプライズ演奏とクリスマスソングのハンドベル演奏で盛り上げてくれました。元気で明るい3年生は、ダンスパフォーマンスで楽しませてくれました。

6年生が卒業すると、5年生2人と4年生1人がリーダーになって、3年生7人と一緒に活動していきます。これからも、学校の中に音楽を届け、みんなの心にワクワク感や、いやしの気分を届けるためにも、なかよく練習を楽しんでほしいと思います。

### みんなに支えてもらって・・・

朝から、お父さん・お母さんが演奏会場をきれいに飾り付けしてくれました。そして、コンサートの後には、器楽部の6年生を送る会も企画してくれて、たくさんの「ありがとう」の心を伝え合う、素敵な時間をつくってくれました。中学校の先輩たちからも、心温まる「みんながんばれ」メッセージをもらいました。いろんな人たちから応援され、かわいがられている皆さんは、幸せですね。



6年生・部長・杉山碧泉さんから  
コロナの中で、いろんな演奏会が中止になっていて、ラストコンサートができるかどうか心配していたけど、できてよかったです。最後の大きな演奏会は、大事な思い出になりそうです。  
家族やお客さんもいっぱい来てくれてうれしかったです。どうもありがとうございました。

# 指導主事訪問・道徳



今年度最後の指導主事訪問が、2年生と6年生の授業で行われました。お二人の指導主事は、どちらの学年も子どもたち全員が自分ごととして学習に参加している様子に感心していました。

2年生・主題名・助け合う友だち（友情、信頼）  
教材名「森の友だち」 指導者・藤原薫先生



自分たちの森にやってきた、乱暴でやっかいものの「こんきち」。ある日、オオカミに襲われたやっかいものの「こんきち」を、森の友だちとして助けることにしました。動物たちの心の葛藤と「こんきち」の心の変化について話合いました。

「たすける」「たすけない（にげる）」の判断に、子どもたちは本音を次々に出し合いながら、本物の友情について真剣に考えていました。

聞きやすい声の大きさと発表する子と、発表する人の方を向いてしっかりと聞く子どもたち。自然な規律が育まれて、「子どもが子どもにしゃべる授業」へと成長していました。

6年生・主題名・自分が目指すところまで（希望と勇気、努力と強い意志）  
教材名「発明家の右手は宝物」 指導者・西村浩美先生



NHKの道徳ドキュメントという番組の中から、西村先生が惚れ込んだお話。突然の事故で右手の指を失ってしまった主人公が、どん底の思いから立ち上がり、障がい者のための道具発明家になったというストーリー。

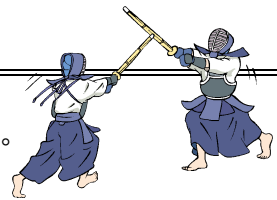
いつも、とっても真面目で真剣な6年生ですが、この時間の瞳は特別に輝いていました。ものすごい透明感がありました。本物に触れることの力を感じました。

授業を通して、夢を実現することの困難さや、くじけずに努力することの大切さについて、よくよく考えて、様々な面で捉え直すことができたようです。

## みんなのがんばり紹介

令和2年度大曲仙北少年剣道大会  
優勝 洗心館道場A  
敢闘賞 5年・佐々木美優

オフのない、剣道スポ少。  
冬の練習は寒いだろうなあ。  
痛いだろうなあ。  
しかし、『鍛錬』  
がんばる剣士にエールを送ります。



## 車道を歩く 冬の道 今こそ、雪との安全な付き合い方を！

本格的な、しかも、急な積雪に子どもたちは喜んで外で遊んでいます。大人の皆さんは、毎日の雪かきや混み合う道路にお疲れのことと思います。本当は、「冬も歩いて登校させたい」と思っています。特に、積雪前の時期は！しかしながら、横堀の道路状況は危険。白線の外側は全部雪が積もっています。つまり、歩くところが無いのです。どうか、雪道の歩き方と、通学路や家の周りの危険な箇所は、各ご家庭でしっかりと理解させてあげてください。

もうひとつ。本当は「校門から中に車で入ってきてほしくない」です。校地内の駐車場が、とても危険だからです。少し離れたところで降ろすとか、待ち合わせる場所を決めるなどの対応が可能な方は、解決策を考えていただければ助かります。解決できない方は、特別に、やむを得ず入るのだという自覚をもって、とにかく安全に気を付けてください。

体調の管理も、ワンレベル上げて、感染症予防対策を！